

2016 heimtextil DECO TEAM 2016.2.21 Report Miki Kizahara 4/9

■デコ・チーム

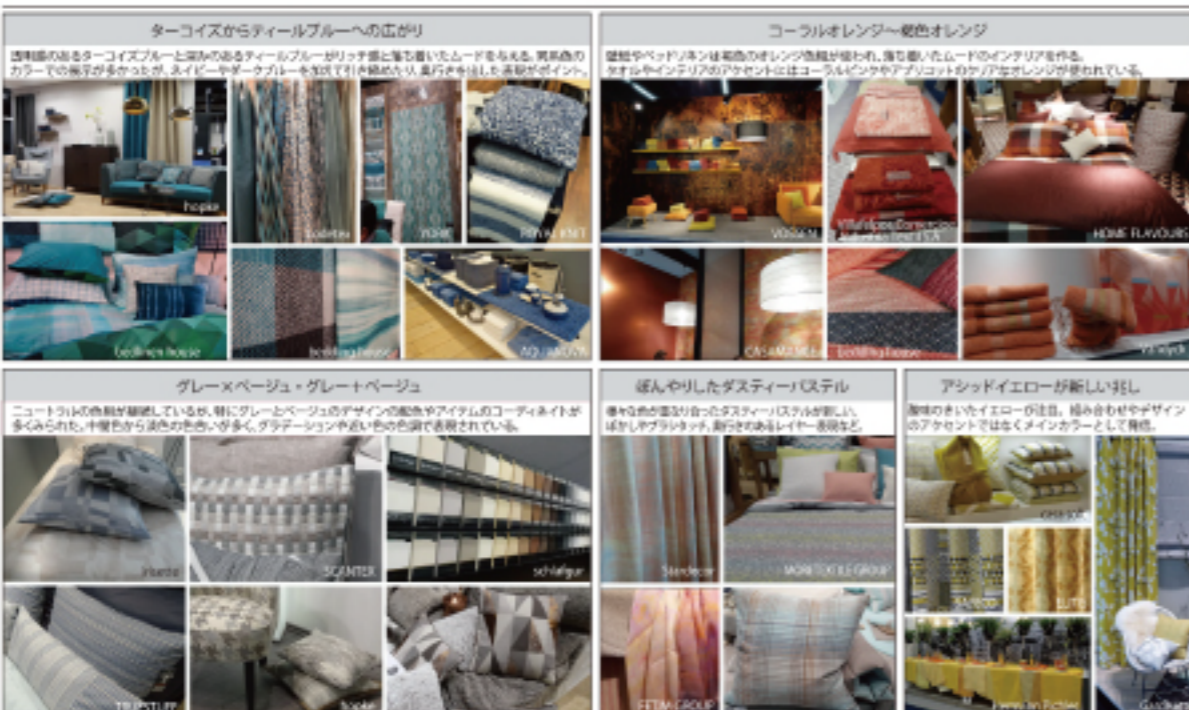
今年も同コーナーで集められた生地の中からカーテン・壁紙・家具の張地等の素材を自由に選んでコーディネートボードを作るワークショップが実施された。トレンドテーマがそれぞれのカテゴリで統一感を出して具体的な組み合わせとして参考になり、インテリアコーディネーターやデコレーターにとってはお宝ゾーンである。



2016 heimtextil COLOR TREND 2016.2.21 Report Miki Kizahara 5/9

■カラー傾向

ブルー系、ニュートラルの色相は昨年同様、特にブルー系は壁紙、カーテン、ベッドリネン、タオルなど各カテゴリで今年さらには増加。ピンク系はオレンジへと移行し、コーラル、アプリコットや絶色のオレンジへと色相の幅が広がる。昨年から注目されるダスティ・パステルもほんやりとしたトーンやミックス感が強まり複雑なカラーパレットを構成する。



2016 heimtextil QUALITY TREND 2016.2.21 Report Miki Kizahara 6/9

■クオリティー傾向

デジタルテクニックが不可欠になった素材や資材は、これまでテクニックを駆使した表裏のオンパレードから、少し落ち着いたように思われる。クリーンでテクニカルな素材とクラフトでナチュラルな要素を残した材質、素材が主流を占める。



2016 heimtextil PATTERN TREND 2016.2.21 Report Miki Kizahara 7/9

■パターン傾向

今年も自然界からインスピレーションした表面デザインが注目された。複数のパターン要素の組合せで奥行きや質感を感じさせる。昨年よりは組み合わせ要素が整理されモチーフの印象が鮮明になった。

